

第 3 回住用地区学校統合準備委員会 会議録(要約)

1. 【各部会からの報告】

総務部会では、6 月の合同学習時の資料等をもとに、学校統合後のスクールバスについて、児童生徒の居住地、バス停の位置、距離・所要時間等を確認し、効率的な運行ルート等について協議した。今後、具体的な運行方法について引き続き検討する。また、学校跡地利活用に関する住民アンケート案についても協議する予定。

学校運営部会では、6 月の合同学習について各校長から振り返りを行い、児童生徒同士の交流を継続していくことの重要性を確認した。また、新学校のグランドデザインを作成するとともに、各学校の特色ある教育活動を整理し、新学校に継承・発展させる取組について検討している。今後は、統合後の学校行事や児童生徒・教職員の役割等について協議する。

PTA 部会では、統合後の PTA 会費等について協議しており、今後は中学校の制服についても検討する。

2. 【新学校の校名候補について】

第 2 回準備委員会までに応募された 48 件の校名候補について検討を行い、事務局から「奄美市立住用学園（仮称）」を候補として提案した。「住用」の名称を残すことで地域とのつながりを継承するとともに、「学園」とすることで、9 年間の学びを一体的に行う新しい学校としての特色を表すことができるとの考えを確認した。協議の結果、「奄美市立住用学園（仮称）」を本委員会としての校名候補とすることを了承した。なお、正式な校名については、令和 8 年 12 月市議会定例会における条例改正等を経て決定する予定。

3. 【学校跡地利活用に関する住民アンケート案について】

学校統合後の住用小学校及び住用中学校、市小中学校の施設について、地域住民から幅広く意見を聴取するため、住民アンケート案について協議した。

本アンケートは、跡地の具体的な利活用方法を決定するものではなく、今後の検討に向けて地域住民の意見を把握するための第一段階として実施することを確認した。

協議では、以下の点について修正・検討することとした。

- * 「広くご意見を伺いたい」というアンケートの趣旨が伝わるよう、冒頭の説明文を修正
- * アンケート結果がそのまま利活用方法の決定につながるものではなく、今後の検討の参考とすることを明記
- * 利活用の選択肢について、教育・観光・福祉・スポーツ等に加え、宿泊施設、企業・自治会等の研修施設、防災施設・防災拠点などを追加検討
- * 「学生」の表現について、児童生徒を含む多様な学びの場という視点も踏まえて再検討
- * 全世帯配布を基本とし、QRコードによるオンライン回答と紙回答の双方に対応
- * 世帯内の複数人が回答できるよう、「宛名の方がお答えください」という表現を見直す
- * 紙で回答する場合、必要に応じて追加で回答できる方法を検討
- * 回答者属性の「性別」について、設問としての必要性を検討

以上を踏まえ、事務局でアンケート案を再度修正した上で実施することを了承した。

4.【部会の所掌事項の見直しについて】

部会間の協議内容を整理するため、以下のとおり所掌事項を変更することについて協議し、了承した。

- * 「制服その他の学校生活に関すること」
→ 総務部会から PTA 部会へ
- * 「式典及び行事に関すること」
→ 総務部会から学校運営部会へ

今後、それぞれの部会で具体的な協議を進め、必要に応じて本委員会へ報告する。